

第40回（令和7年度）神奈川工業技術開発大賞
申込書 【1】企業概要

提出日 令和7年〇月△△日

神奈川県知事に必要書類を添付の上、提出します。

1-1 企業概要

企業名称	ふりがな	〇〇	※ 記載内容についての御相談も承りますので、お困りのことがございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。
	名称	〇〇株式会社	
本社所在地	郵便番号	〒243-〇〇〇〇	
	住所	横浜市中区日本大通〇〇-〇〇	
	電話番号	045-210-△△△△	
	FAX番号	045-210-□□□□	
代表者	役職	代表取締役	
	ふりがな	かながわ たろう	
	氏名	神奈川 太郎	
事業概要		電気機器製造および販売	
設立年月		昭和〇〇年△月	
常勤従業員数		□□ 人	
資本金		〇,〇〇〇 千円	
売上高		△,△△△ 千円	
営業利益		□,□□□ 千円	

1-2 主な研究開発を行う県内事業所

県内事業所所在地	名称	同上	※ 主な研究開発が神奈川県内の事業所で行われていることが応募要件です。県内の住所を記載してください。 ※ 本社と同じ場合には「同上」と記載してください。
	郵便番号		
	住所		
研究開発期間		令和〇年□月 ~ 令和△年〇日	
企業化（商品化）時期		令和□年〇月	
連絡先担当者	所属・役職	研究開発室・室長	
	ふりがな	よこはま じろう	
	氏名	横浜 次郎	
連絡先	電話番号	045-210-△△△△	※ 応募書類の確認、選考会の案内等で御連絡いたしますので、確実に連絡のとれる方の記載をお願いいたします。
	FAX番号	045-210-□□□□	
	E-mail	〇〇〇@〇〇.co.jp	

第40回（令和7年度）神奈川工業技術開発大賞
申込書 【2】 応募技術・製品の概要

2-1 応募技術・製品の名称

※名称は簡潔なものとしてください。

名称	□□技術の開発	
技術・製品の別	1	1. 技術 2. 製品 3. 技術及び製品
分野	5	(

※分野は下記項目から選択（9を選択した

※ 分野については、応募技術・製品の該当分野に最も近い1項目を記入してください。（9.その他を選択した場合、括弧内に分野を記載）

1. エレクトロニクス 2. 一般機械 3. 材料・化学 4. 機械・電気 5. 情報・通信 6. 土木・建設工法 7. コンピュータ等ソフトウェア 8. 安全関連技術 9. その他

2-2 応募技術・製品の概要

※ 応募技術・製品の用途、利用分野、主な特徴、開発のポイント、開発に至った動機等について、具体的かつ簡潔に、概要を記載してください。

（文例）今回の応募技術・製品は、令和○年●月に発売した、○○分野における◆◆向けの□□である。◇◇や△△が特徴的であり、■●や▲▲としても需要があり、●●業界や△△分野でも利用されている。独自に新開発した◇◇、□□機能の搭載により、これまで対応できなかった△△が可能になった。従来、○○製品の生産時に加工不良品が◆%の割合で発生していた。そこで、●●を解決するため、□□な点を△△に改良し、◆◆技術の開発を行った。また、同時に○○という課題も発生したため、新たに～～技術を開発した。これにより、●●機能を持った◇◇製品を開発・販売することができた。

※ [2-2]～[2-6]の項目は、図表や数値データなどを使用して、具体的に記載してください。必要に応じて記載枠の大きさを変更したり、図表等を別紙で添付したりしても構いません

※ 申込書は、別紙を含めて10頁以内となるように、簡潔に記載してください。10頁を超える資料については、参考資料として提出してください。

2-3 応募技術・製品の新規性

※ 従来の同種あるいは競合する技術・製品と比較し、どのような新規性や獨創性、相違点があるのか、業界や技術分野の動向等と併せて具体的に記載してください。

（文例）今回の応募技術・製品は、■●や▲▲が特徴的な、新規性のある製品である。●●の発想をもとに独自に新開発した◇◇、□□機能により、従来の製品では対応できなかった△△が可能になった。他社には当社のような◇◇、□□機能を有した機種はなく、本開発品は国内で唯一の特徴を持った製品である。他社製品との具体的な機能の比較を別紙の表1に示す。本開発品は、△△の面において▲▲である点に大きな違いがあり、○○の性能が□□%向上した。また、本開発品の特徴である獨創的な◆◆技術により、他社製品では対応できない～～という課題を改善し、性能が向上した。

2-4 応募技術・製品の難易度

※ 今回の応募技術・製品が、先端的な技術か、従来の同種あるいは競合する技術・製品と比較して、高度な技術レベルを有しているかどうかについて、具体的に記載してください。
※ 開発にあたり、技術上の問題点・課題をどのような原理・方法で解決したのか、工夫したこと、その成果の有効性等についても、わかりやすく記載してください。

（文例）今回の応募技術・製品は、●●の先端技術や、従来にはない高度な◆◆技術を用いている。開発にあたって△△の面で▲▲の点が難しい課題であったが、□□の工夫により●●技術を開発し、さらに当社が保有している◆◆の既存技術をもとに△△部品の改良を加えたことで、○○に特徴のある本製品を開発できた。本技術は、○○の点で難易度が高く、他社には追従されていない。

従来、○○製品の生産時に加工不良品が◆％の割合で発生しており、これを改善するためには技術的な課題が3点あった（表1参照）。課題1は…という原理で、課題2は…という工夫により解決した。課題3は●●の点で難易度が高かったが、○○技術を開発したことで、□□が解消され、生産時の不良品割合が△△％となり、大幅に改善した。また開発した技術について、□□を◇◇することで有効性を検証したところ、～～という結果が得られた。

2-5 応募技術・製品の先導性

※ 今回の応募技術・製品が、業界をリードしているか、もしくは業界における今後の見込みについて、業界や技術分野の動向等も併せて、具体的に記載してください。

（文例）今回の応募技術・製品は、■●や▲▲が特徴的であり、令和○年●月に開発・商品化した。発売当時、国内・国外で初めて○○機能を持った製品であり、令和○年、□□部門において国内販売実績で○○％のシェアを占めている。△△の動向により○○への対応が必要とされている△△業界や◆◆技術分野において、□□な点で先導的な技術・製品である。加えて、●●が見込まれている◆◆分野でも既に□□で活用されはじめており、今後、○○として業界をリードすることが見込まれる。

2-6 応募技術・製品の社会的効果

※ 今回の応募技術・製品への反響や生活・産業・環境保全等への波及効果、また、その理由について記載してください。

今回の応募技術・製品は、○○が課題となっている◆◆業界において、△△の特徴を生かし、●●の解決に貢献した。また、本開発品を用いることで、～～であることから、○○や△△が実現できた。

今回、開発した技術・製品に対してお客様から～～という反響があり、今後も◆◆の業界の発展に大きく寄与することができる。□□の面において生活の向上がはかれ、また▲▲の改善により○○産業への波及が見込まれる。さらに、既存の□□技術を応用して開発された◇◇技術であるが、○○の面において生活の質の向上や△△産業の発展、環境の改善に貢献することが期待される。

第40回（令和7年度）神奈川工業技術開発大賞 申込書 【3-1 技術】売上状況等

3-1 応募技術の売上状況・見込み

＜応募時点までの応募技術の売上実績＞

応募技術の単価	〇〇技術の提供1件 △△千円 (ロイヤリティー等)			
累計売上額	□, □□□	千円	発売開始	令和〇年〇月

※ 技術を応募する場合は[3-1]に、製品を応募する場合は[3-2]に記載してください。技術・製品とも含む場合は、[3-1]と[3-2]に記載してください。

＜応募技術の売上状況の推移・見込み＞

	技術の売上額		契約数		その他収入	
前々期 令和5年4月～6年3月	〇〇〇	千円	△△	件	□□	千円
前期 令和6年4月～7年3月	※ 直近2年間及び今後の見込み2年間について記載してください。技術の売上額と契約数には、主な金額・数を記載し、それ以外をその他の収入に記載する。応募技術に係るものに限る。数字は正確に記載してください。 ※ 単価と契約数の積が売上額となるようにしてください。そうならない場合は、その理由を補足説明に記載し、単価や契約数との関係性を明らかにしてください。 ※ その他収入は、製品の広告収入や技術提供などによるものを想定しております。該当がある場合は、補足説明に内容を記載し、該当がない場合は、0としてください。					
今期（見込み） 令和7年4月～8年3月						
次期（見込み） 令和8年4月～9年3月						

＜応募技術の売上状況の

（文例）令和元年〇月の発売以来、〇〇業界を対象として営業活動を行ってきた。ビジネスモデルとしては、取引先を通じて販売するとともに、～～での貸出（レンタル）を実施している。貸出での単価は●●円であり、貸出の実績・見込みは上記表の「その他収入」欄に記載したとおりである。

今までにない●●という機能を持ち、かつ、安価であることから、お客様からの反応は上々であり、今期は、◆◆円の売上を見込んでいる。市場としては◇◇業界も対象となると想定しており、今後は……を行っていくことで、次期の目標として□□円の売上（■社との取引）を目指す。

※ これまでの販売・提供方法、ビジネスモデル、市場の反応、今後の見込み・方向性について、記載してください。

※ 数値や固有名詞等を用いて、販売状況を記載してください。

4 応募技術に関する

産業財産権について	※ 応募技術等に関する特許等の産業財産権については、<u>名称、出願者、発明者、出願、公開登録の番号、題名、日付</u>を記載してください。また、産業財産権の使用許諾（許諾を受けている時、許諾を与えている時）に関しても記載してください。 ※ 受賞歴について、応募技術・製品が過去に受賞した賞があれば、<u>賞の名称・受賞年</u>を記載してください。 ※ 神奈川工業技術開発大賞各賞の受賞歴がある場合、<u>以前の受賞技術等との相違点や今回の新規性</u>についても記載してください。 ※ 該当がない場合には、「なし」と記載してください。
受賞歴	

第40回（令和7年度）神奈川工業技術開発大賞 申込書 【3-2 製品】売上状況等

3-2 応募製品の売上状況・見込み

＜応募時点までの応募製品の売上実績＞

応募製品の単価	〇〇装置1件 ●●円 △△システム（ソフト）1本 ▲▲円			
累計売上額	□, □□□	千円	発売開始	令和〇年〇月

※ 技術を応募する場合は[3-1]に、製品を応募する場合は[3-2]に記載してください。技術・製品とも含む場合は、[3-1]と[3-2]に記載してください。

＜応募製品の売上状況の推移・見込み＞

	製品の売上額	販売数	その他収入
前々期 令和5年4月～6年3月	※ 直近2年間及び今後の見込み2年間について記載してください。技術の売上額と契約数には、主な金額・数を記載し、それ以外をその他の収入に記載する。応募技術に係るものに限る。数字は正確に記載してください。 ※ 単価と契約数の積が売上額となるようにしてください。そうならない場合は、その理由を補足説明に記載し、契約数や単価との関係性を明らかにしてください。 ※ その他収入は、製品の広告収入や技術提供などによるものを想定しております。該当がある場合は、補足説明に内容を記載し、該当がない場合は、0としてください。		
前期 令和6年4月～7年3月			
今期（見込み） 令和7年4月～8年3月			
次期（見込み） 令和8年4月～9年3月			

＜応募製品の売上状況の補足説明＞

（文例）令和元年〇月の発売以来、〇〇業界を対象として営業活動を行ってきた。ビジネスモデルとしては、取引先を通じて販売するとともに、～～での貸出（レンタル）を実施している。貸出での単価は●●円であり、貸出の実績・見込みは上記表の「その他収入」欄に記載したとおりである。 今までにない●●という機能を持ち、かつ、安価であることから、お客様からの反応は上々であり、今期は、◆◆円の売上を見込んでいる。市場としては◇◇業界も対象となると想定しており、今後は……を行っていくことで、次期の目標として□□円の売上（■社との取引）を目指す。	※ これまでの販売・提供方法、ビジネスモデル、市場の反応、今後の見込み・方向性について、記載してください。 ※ 数値や固有名詞等を用いて、販売状況を記載してください。
---	---

4 応募製品に関する

産業財産権について	※ 応募技術等に関する特許等の産業財産権については、<u>名称、出願者、発明者、出願、公開登録の番号、題名、日付</u>を記載してください。また、産業財産権の使用許諾（許諾を受けている時、許諾を与えている時）に関しても記載してください。 ※ 受賞歴について、応募技術・製品が過去に受賞した賞があれば、賞の名称・受賞年を記載してください。
受賞歴	※ 神奈川工業技術開発大賞各賞の受賞歴がある場合、その受賞後に行った技術開発について評価を行う。[2]応募技術等の概要欄に、今回の新規性・以前の技術等との相違点を記載してください。 ※ 該当がない場合には、「なし」と記載してください。